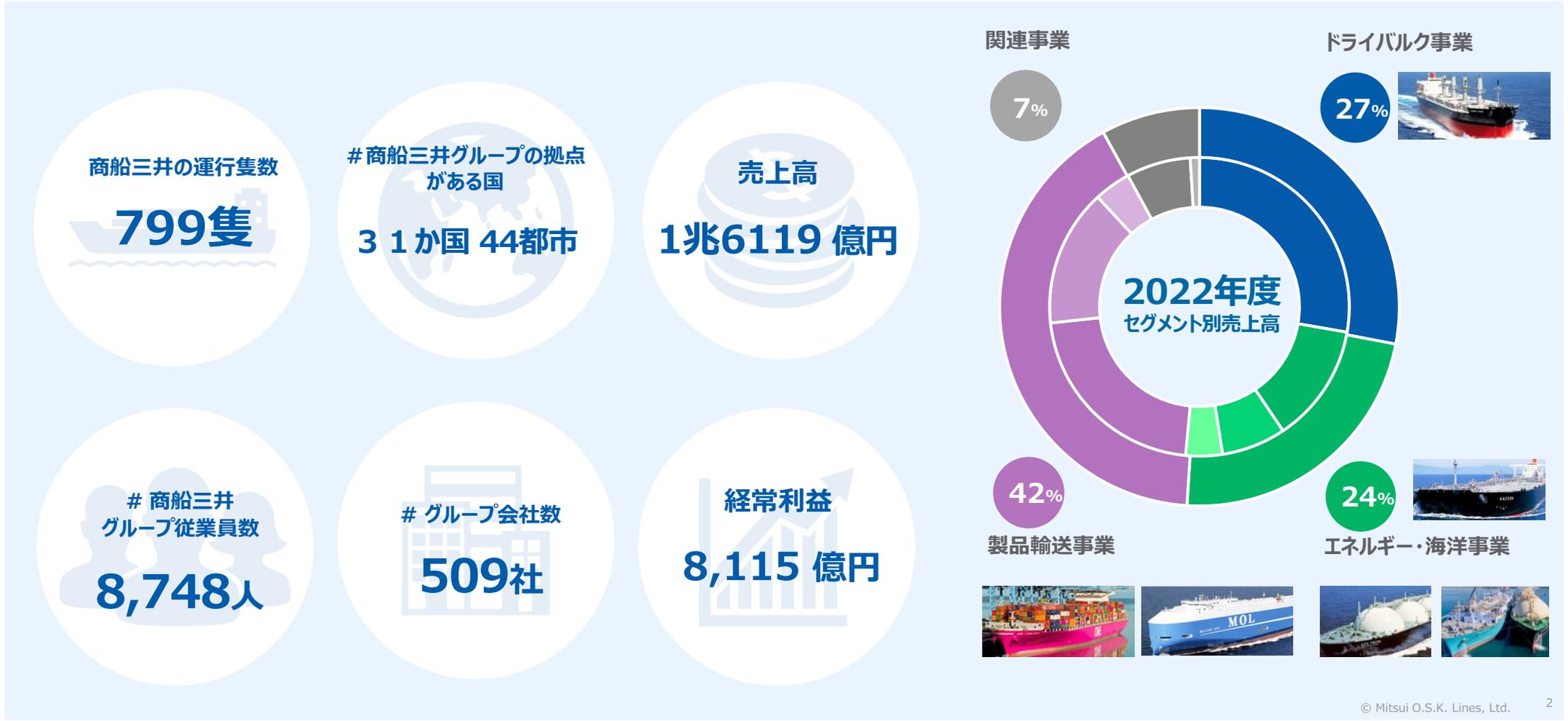

TCFDの経営戦略との統合 (商船三井の場合)

2023/10/30

環境・サステナビリティ戦略部
リサーチ・スペシャリスト 青木 大輔



商船三井 (MOL) のご紹介



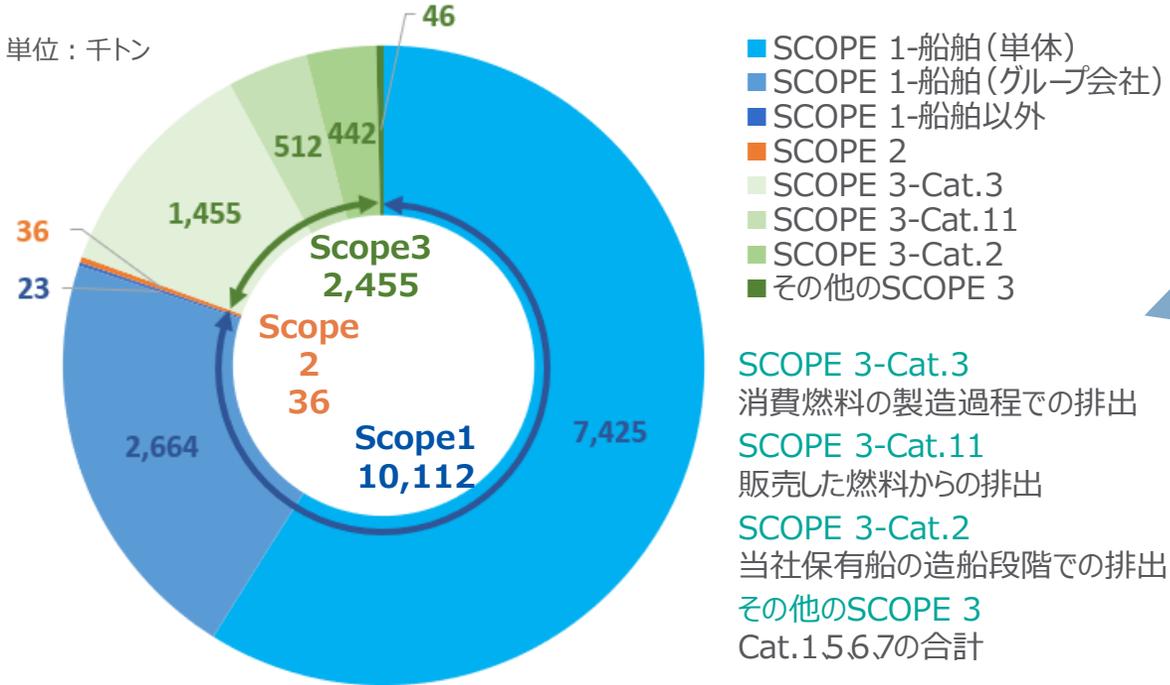
© Mitsui O.S.K. Lines, Ltd. 2

商船三井グループ GHG排出プロフィール

GHG排出総量

2021年度 当社グループGHG排出量実績

単位：千トン



- 船からの排出が中心
- SCOPE 1排出量は約1千万トン／年

19年度 (基準年)
14.3 百万トン

▲12%

21年度
12.6 百万トン

商船三井 経営計画 & サステナビリティ課題 & 気候変動対策の関係

サステナビリティ課題解決を通してありたい姿を実現する。その実現のための計画がグループ経営計画。



商船三井グループ経営計画
『Blue Action 2035』



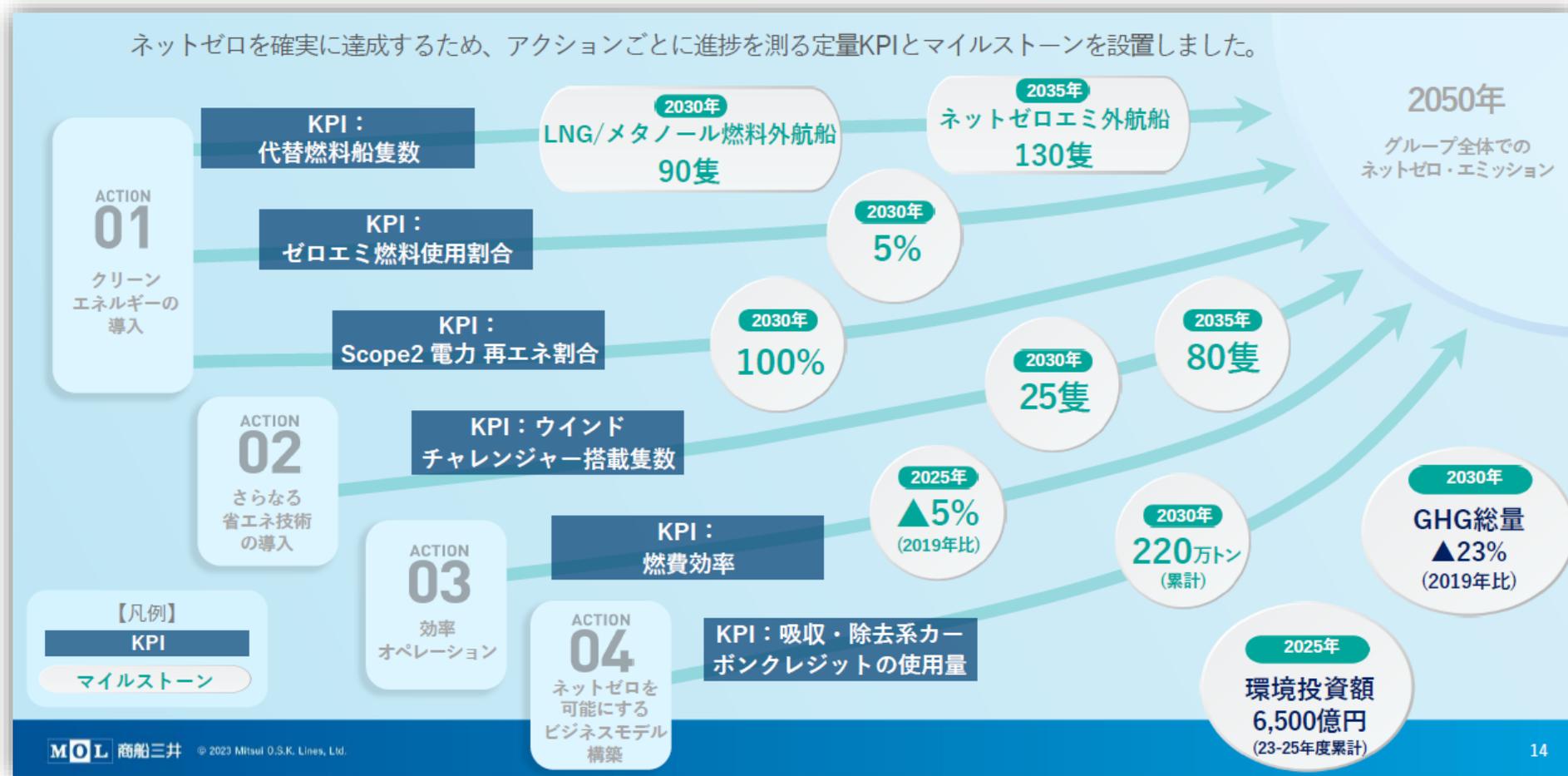
商船三井グループの
サステナビリティ課題 (マテリアリティ)



商船三井グループ
『環境ビジョン2.2』 (移行計画)

『商船三井グループ 環境ビジョン2.2』 ネットゼロ達成への道筋を示す

商船三井グループの2050年ネットゼロへ向けた移行計画を示す。TCFD開示の中心的コンテンツ。



『商船三井グループ 環境ビジョン2.2』より抜粋

TCFDの経営戦略との統合

『環境ビジョン』で示した移行計画と統合的な投資計画を、経営計画の中で策定。

8

環境戦略（サステナビリティ課題「環境」への取組）

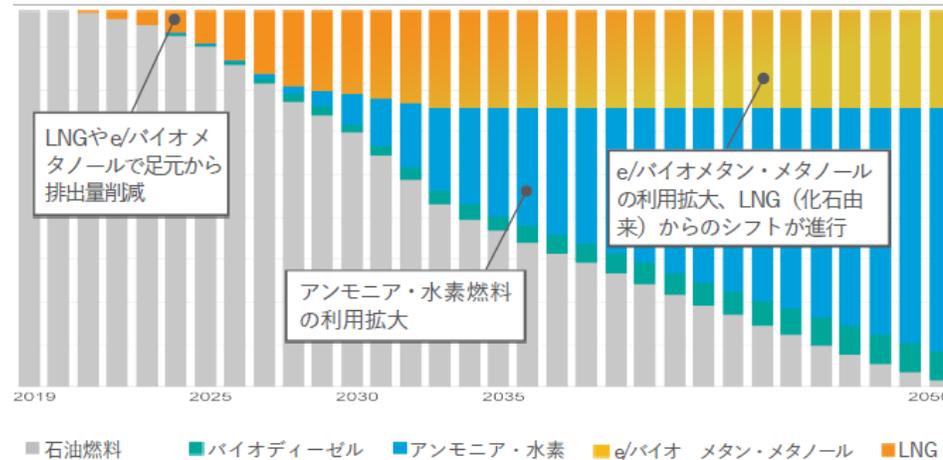
「中長期目標達成のためのACTION 01 クリーンエネルギーの導入」への取組



Phase 1ではLNG燃料外航船16隻が竣工予定。2020年代の外航ゼロ・エミッション船就航に向けた準備も進める。船隊整備以外にも、オフタイカーの立場を活かして燃料調達・サプライチェーンに参画し海運業界におけるクリーン燃料サプライチェーンの構築を後押しする。

代替燃料船隊ロードマップ

(縦軸：自営運航隻数)



Phase 1 環境戦略への投資額

(キャッシュアウトベース)

(単位：億円)	既決	新規	小計
自社からのGHG排出削減	1,900	1,600	3,500
低・脱炭素エネルギー事業拡大	1,900	1,100	3,000
合計	3,800	2,700	6,500

商船三井グループ経営計画『Blue Action 2035』より抜粋

TCFDの経営戦略との統合

経営計画の中のCore KPIとして、GHG排出原単位削減率を設定。投資計画、利益計画はこれと整合的。

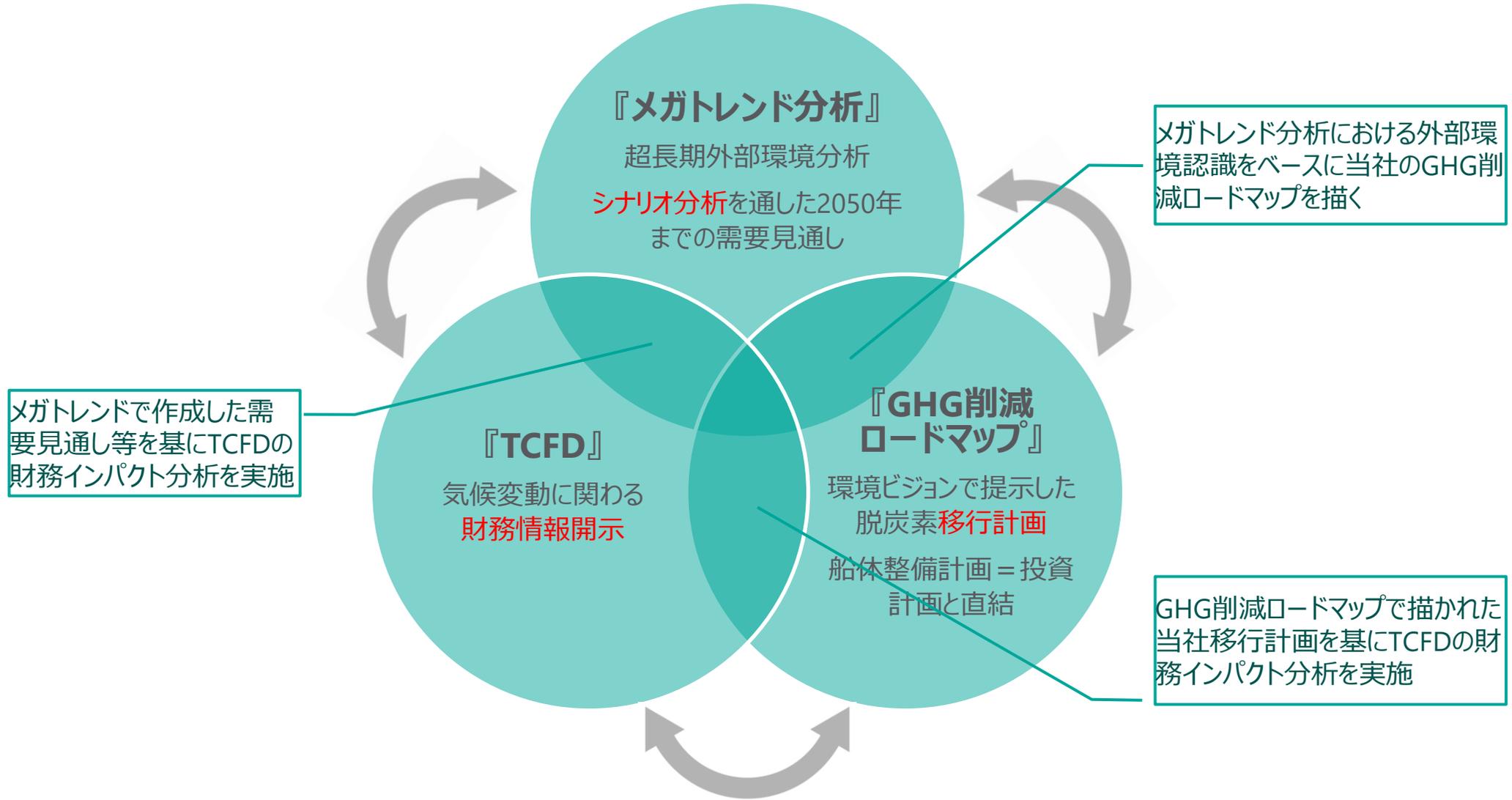
2035年のありたい姿（2）Core KPI 設定

Phase 1・2 最終年度でのマイルストーンおよび Phase 3 最終年度の達成目標

目標		2022年度 見通し	Phase 1 2025年度	Phase 2 2030年度	Phase 3 2035年度
財務 KPI	税引前当期純利益	7,850億円 ^{*1}	2,400億円	3,400億円	4,000億円
	ネットギアリングレシオ ^{*2}	0.83		0.9~1.0	
	ROE	47.5%		9~10%	
非財務 KPI	環境 GHG排出原単位削減率 (2019年比)	▲3.6% (2021年実績)	-	-	▲45%
	安全 4 Zero ^{*3}	未達 (労災死亡事故1件)	達成		
	人財 単体陸上職 女性管理職比率	9.2%	15%	[Phase 1終了までに改めて設定]	
	MGKP ^{*4} 在任者構成率 (女性/本社出身者外/40代以下)	5%/20%/10%	8%/30%/15%		
	DX 価値創造業務・ 安全業務への転換率 (累計)	-	10%	20%	30%

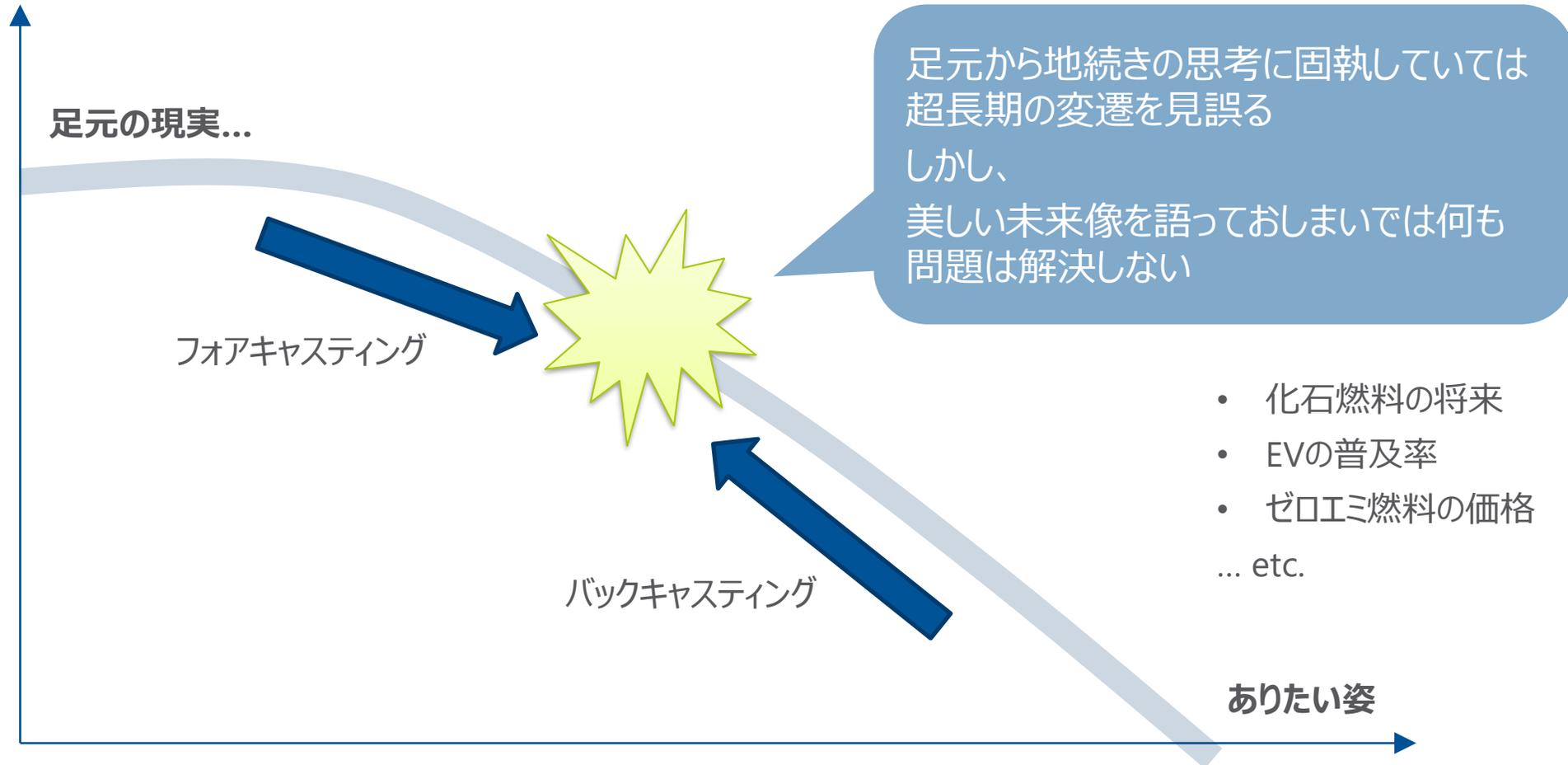
商船三井グループ経営計画『Blue Action 2035』より抜粋

シナリオ分析、移行計画、TCFDで作り出すサイクル



シナリオ分析の課題

バックカスティングとフォアカスティングの結節点をどう描くか。そして、それに関してどのような社内の合意を形成するか。



ぜひご覧ください！



商船三井グループ経営計画
『Blue Action 2035』



商船三井グループ
『環境ビジョン2.2』（移行計画）



商船三井グループ
『TCFD提言に基づく開示』

